

ID	受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分	文獻	近例	修正 使用 措置	感染症(P)	出典	概要
326	2007/07/24	70326	ノボル ディスク ファーマ	エプタコグ アルファ(活性型)(遺伝子 組換え)	エプタコグ アルファ(活 性型)(遺伝 子組換え)	エプタコグ アルファ(活 性型)(遺伝 子組換え)	該当しない	有効成分	無	無	無			
327	2007/07/24	70327	ノボル ディスク ファーマ	エプタコグ アルファ(活性型)(遺伝子 組換え)	ブタ臓臓由 来トリプシン	ブタ臓臓(抽 出物)	不明	製造工程	無	無	無			
328	2007/07/24	70328	ノボル ディスク ファーマ	エプタコグ アルファ(活性型)(遺伝子 組換え)	ウシ胎仔血 清	ウシ血液	ニュージー ランド、オー ストラリア、 米国及びカ ナダ	製造工程	無	無	無			
329	2007/07/26	70329	日本オル ガン	ダナバロイドナトリウム	ダナバロイド ナトリウム	ブタの小腸粘 膜	ベルギー、 ドイツ、フラ ンス、スвей デン、オースト リア、オラン ダ	有効成分	無	無	無			
330	2007/07/26	70330	ゼリア新薬 工業	結核菌熱抽出物	全卵液	全卵液	日本	製造工程	有	無	無	鳥インフルエン ザ	YAHOO!ニュース (毎日新聞) 2007 年1月16日	2007年1月16日、農林水産省は、宮崎県、青武町の谷口瞬 卵場黒坂農場で発生したトリインフルエンザは高病原性 ウイルスH5N1型によるものであることを確認したと発表し た。アジアを中心に鳥から人への感染が続く強毒型の可 能性が高く、遺伝子解析をして感染経路を究明する。厚 生労働省は国内での人への感染の危険は低いと見てい る。
					全卵液							鳥インフルエン ザ	WHO/CSR 2007年 2月3日	2007年2月3日、ナイジェリア政府は死亡したLagos出身の 22歳女性からA/H5N1トリインフルエンザウイルスが検出 されたと発表した。ナイジェリアの研究所で陽性となり、 WHO協力センターで確定された。感染源を特定するため に更に調査中である。この患者との接触者からの検体は 陰性であった。ナイジェリアでは家禽でのアウトブレイクで H5N1ウイルスが同定されており、トリインフルエンザによ る散発的なヒト感染症例は予想された。
												鳥インフルエン ザ	WHO/CSR 2007年 3月8日	ラオス人民民主主義共和国の保健省は同国で初めての H5N1トリインフルエンザによる死亡例を確定した。 Vientianeの15歳女性で、2月27日に感染が発表され、タイ の病院に入院後、3月7日に死亡した。